

(平成24年6月試験研究業務月報)

試験研究課題：ブロイラーへの全粒小麦、全粒玄米給与によるカンピロバクター感染抑制効果（F S研究）

研 究

鶏への全粒小麦、玄米給与によるカンピロバクター菌の感染抑制

食中毒原因菌の一つであるカンピロバクター菌は、ブロイラーの体内に飼料とともに入るが、消化管内がpH5以下の酸性環境であれば死滅します。本研究は、ブロイラーに小麦または玄米を全粒のまま給与すると消化管内での滞留時間が長くなり、胃酸の分泌が促進されてpHが下がる性質を利用します。

試験で14日齢のブロイラーに全粒小麦、玄米を給与したところ、好んで食べることを実証しました。今後は、胃内のpHを測定して殺菌効果を調査することとしています。



全粒飼料を採食するブロイラー



全粒小麦(上)、全粒玄米(下)

畜産センター